



## 2017年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年10月27日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 藤野 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 小林 正昭 (TEL) 03-3242-0520  
 四半期報告書提出予定日 2017年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2017年12月期第3四半期の連結業績 (2017年1月1日~2017年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年12月期第3四半期	10,371	△1.6	137	△84.2	146	△83.0	△64	—
2016年12月期第3四半期	10,543	△23.7	874	△53.0	865	△53.7	541	△53.7

(注) 包括利益 2017年12月期第3四半期 △162百万円(—%) 2016年12月期第3四半期 1百万円(△99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年12月期第3四半期	△2.53	—
2016年12月期第3四半期	21.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2017年12月期第3四半期	27,893	23,573	84.5
2016年12月期	28,601	24,094	84.2

(参考) 自己資本 2017年12月期第3四半期 23,573百万円 2016年12月期 24,094百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2017年12月期	—	6.00	—	—	—
2017年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2017年12月期の連結業績予想 (2017年1月1日~2017年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△1.5	200	△81.3	200	△81.3	△70	—	△2.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2017年12月期3Q	25,675,675株	2016年12月期	25,675,675株
2017年12月期3Q	166,124株	2016年12月期	162,618株
2017年12月期3Q	25,511,655株	2016年12月期3Q	25,516,739株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想について」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想について	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年1月1日～2017年9月30日)における当社グループをとり巻く環境は、国内では緩やかな景気回復基調が続いており、世界経済も全般的に回復基調を維持しておりますが、一部地域での地政学リスクの高まりなどもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、積極的な国内外の販売活動を実施し、生産性の向上に努めましたが、業績につきましては、ヨウ素の国際市況の下落による影響を大きく受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は103億7千1百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は1億3千7百万円(同84.2%減)、経常利益は1億4千6百万円(同83.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は6千4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億4千1百万円)となりました。

なお、当社は複数事業主制度の厚生年金基金に加入しておりますが、2017年10月31日に脱退し、当社の企業年金制度を既存の確定拠出年金制度に一本化する予定です。これに伴い、厚生年金基金脱退特別掛金8千2百万円を特別損失に計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、ヨウ素の国際市況の下落の影響を大きく受け、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、引き続き生産性の向上に努めましたが、ヨウ素の国際市況の下落の影響を大きく受けたことに加え、当社の米国子会社で荒天の影響等により操業度が低下したこともあり、営業利益は前年同期を下回りました。なお、ヨウ素の国際市況につきましては、前年は年間を通して下落基調で推移しましたが、当第3四半期連結累計期間中は、大きな変動なく推移しました。

この結果、売上高は90億9千4百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は1億2千6百万円(同86.1%減)となりました。

## [金属化合物事業]

金属化合物事業では、販売数量が堅調に推移し、金属相場も前年同期を上回ったことから売上高は前年同期を上回りました。損益面では、上記に加え品種構成の影響及び各種改善効果により営業利益の計上となりました。

この結果、売上高は12億7千6百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は1千1百万円(前年同期は営業損失3千1百万円)となりました。

## (2) 連結業績予想について

業績予想につきましては、2017年7月26日に公表しました、「2017年12月期 第2四半期決算短信」に記載の2017年12月期の連結業績予想(2017年1月1日～2017年12月31日)に変更はありません。

当第4四半期の事業環境につきましては、当第3四半期までと同様、厳しい状況が続くことが予想されますが、ヨウ素の国際市況につきましては、一部に回復の動きが出てきております。このような状況のなか、引き続き販売活動の強化、製造プロセスの効率化、付加価値製品の開発等の諸施策を着実に実行して参ります。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2017年12月期(予想)	14,000	200	200	△70	△2.74円
2016年12月期	14,219	1,071	1,068	705	27.65円
増減率	△1.5%	△81.3%	△81.3%	—	—

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533	2,122
受取手形及び売掛金	3,855	3,502
商品及び製品	3,015	2,441
仕掛品	313	326
原材料及び貯蔵品	928	933
短期貸付金	5,846	7,051
その他	182	196
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,673	16,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,626	3,850
機械装置及び運搬具（純額）	4,014	3,499
土地	1,724	1,731
建設仮勘定	837	580
その他（純額）	260	240
有形固定資産合計	10,462	9,901
無形固定資産		
その他	376	360
無形固定資産合計	376	360
投資その他の資産		
投資有価証券	634	633
繰延税金資産	245	245
その他	209	181
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,089	1,060
固定資産合計	11,928	11,322
資産合計	28,601	27,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,337	1,242
短期借入金	600	600
未払金	935	708
未払法人税等	78	—
賞与引当金	119	244
役員賞与引当金	5	2
環境対策引当金	40	1
その他	266	324
流動負債合計	3,381	3,124
固定負債		
退職給付に係る負債	682	752
役員退職慰労引当金	16	—
環境対策引当金	210	210
資産除去債務	181	189
その他	35	44
固定負債合計	1,125	1,196
負債合計	4,506	4,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	16,684	16,262
自己株式	△109	△110
株主資本合計	24,107	23,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	8
為替換算調整勘定	49	△51
退職給付に係る調整累計額	△70	△67
その他の包括利益累計額合計	△12	△110
純資産合計	24,094	23,573
負債純資産合計	28,601	27,893

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
売上高	10,543	10,371
売上原価	8,567	9,062
売上総利益	1,976	1,308
販売費及び一般管理費	1,101	1,170
営業利益	874	137
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	0	0
その他	0	1
営業外収益合計	11	11
営業外費用		
支払利息	1	0
持分法による投資損失	1	1
為替差損	18	0
営業外費用合計	20	3
経常利益	865	146
特別損失		
固定資産除却損	4	25
災害による損失	10	—
厚生年金基金脱退特別掛金	—	82
その他	0	0
特別損失合計	15	107
税金等調整前四半期純利益	849	38
法人税等	308	103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	541	△64
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	541	△64

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	541	△64
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	0
為替換算調整勘定	△543	△100
退職給付に係る調整額	15	2
その他の包括利益合計	△539	△98
四半期包括利益	1	△162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1	△162
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,419	1,123	10,543	—	10,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,419	1,123	10,543	(—)	10,543
セグメント利益又は損失(△)	905	△31	874	—	874

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,094	1,276	10,371	—	10,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,094	1,276	10,371	(—)	10,371
セグメント利益	126	11	137	—	137

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。